
昭和こじょう会便り

35号

2004年3月新春号



(初春の氷雨に震える東山植物園の梅)

—目次—

35号発行に当たって	2頁		
概要	3頁	活動レポート	4頁
活動計画	5頁	生き生き熟年	6頁
クラブ報告	8頁	寄稿	10頁
ニュース	12頁		

発行：名古屋市高年大学鯉城学園一昭和鯉城会

35号新春号発行にあたって

平成 16 年 3 月 16 日

昭和鯨城会副会長(16 期) 境野 紘

昭和鯨城会の会員の皆様お元気のことと拝察いたします。昭和こじょう会便り 35号をお届けします。

新春を迎え、日本全国で、国も、地方も、企業も新たな年の活動が始まりますが、私たち昭和区鯨城会も、15期役員の皆様は会則により退任、4月からは16期、17期の役員が中心となり新たな平成16年度の会の運営が行われることとなります。

この紙上をお借りして、今まで2年に渡り、実り多き会の運営に尽力されました15期の役員の皆様に、会員の皆さんと共に、心より御礼申し上げます。

新年度の新入会員数(17期)は30名以上が予定されており、会員総数は大幅に増える見込みですが、現在、役員会では新年度の新たな会の運営に備えて、諸準備が進められております。

4月9日の年次総会で新役員構成、事業計画など提案させて頂く手筈となっております。

会の一層の発展の為、会員皆様の御支援とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

以上

活動結果報告 : --- ---

<平成 16 年 1 月～3 月の主な活動>

今年 1 月以降の主な活動は次の通りです。

1月1日(木) 「昭和こじょう会便り」新年号(34号)発行

1月8日(木) 第5回役員会開催

- 4月の年次総会準備
- 平成16年度役員会日程確認
- 平成16年度活動計画打合せ

1月14日(水) 17期卒業予定者への入会説明会開催

1月27日(日) 大須演芸場観劇会開催

*詳細は活動結果レポートをご覧ください。

2月9日(月) 鯉城ニュース第2号受領。

2月13日(金) 第6回実行委員会・編集委員会

- 総会準備
- 本年度1-3月の行事の実施要領確認
- 17期生入会状況説明
- 昭和こじょう会便り35号編集方針打合せ

2月22日(日) 第2回「東山植物園さわやかウォーキング」有志にて実施。

(当日はあいにく小雨の為、会の行事としては中止しましたが、10名以上が参集、傘を片手に園内を歩きました)。

3月3日(水) グラウンドゴルフ大会開催

*詳細はクラブ活動報告をご覧ください。

3月12日(金) 第6回役員会

- 年次総会打合せ

3月16日(火) 臨時実行委員会

- 年次総会資料確認
- 昭和こじょう会便り(35号)印刷・配布

<活動レポート>

観劇会—大須演芸場

平成16年の最初の行事として1月27日に大須演芸場観劇会が行われました。出演者の顔触れもよく、「なごやのバタヤン」から始まり、手品、落語、粹曲、舞踊と笑い拍手で楽しいひと時でした。久しぶりに大笑いして、顔の皺も伸び、楽しかったと大好評でした。

大須演芸場へは初めて足を運んだと言う方もたくさん居られたと思います。場内も一昔前に比べるとかなり良い設備になりました。中京地区唯一の落語色物定席です。席亭の足立秀夫さんは色々な困難にもめげず、この道一筋に名古屋に寄席の灯をともし続けるように頑張っておられたと聞いております。

数年前、故みやこ蝶々さんが席亭との友情から、奉仕の気持で同演芸場に特別出演し、満員の盛況であったと記憶しております。

足立さんは高年大学、シルバーカレッジの集い等にも馴染みが深く”笑って生き生き、長生き100年”と言うようなテーマで、大変愉快な面白い講座を続けておられます。

又、当日出演した柳家小三亀松師匠の”小粋な”どどいつ”が何時も中日新聞の夕刊に載っております。私も興味深く目を通しております。

最初席亭にお会いした時、この催しの参加者は30名位とお願いしてあったのですが、53名もご参加頂き、幹事の一人として面目も立ち、大いに感謝致して居る次第です。

大河内 五郎(15期生活)

山本 郁子(15期文化)



柳家 小三亀松師匠

これからの活動計画

平成16年新年度の活動計画は4月の年次総会の際皆様にご提案しますが、当面の会としての行事予定は次の通りです。

① 平成16年度年次総会

平成16年度の昭和鯉城会総会を別紙の通り、4月9日(金)10:00-11:30「三菱重工保健会館」(昭和区丸屋町4の32 tel:052-841-6067, 向陽高校の南側です)で開催します。会員多数のご参加をお待ちしております。

② 懇親昼食会

総会終了後、同じ場所で、希望者による懇親昼食会を次のように実施します。是非ご参加下さい(13:30頃まで)。



会費：一人当たり2,000円(食事+飲み物、税込み)

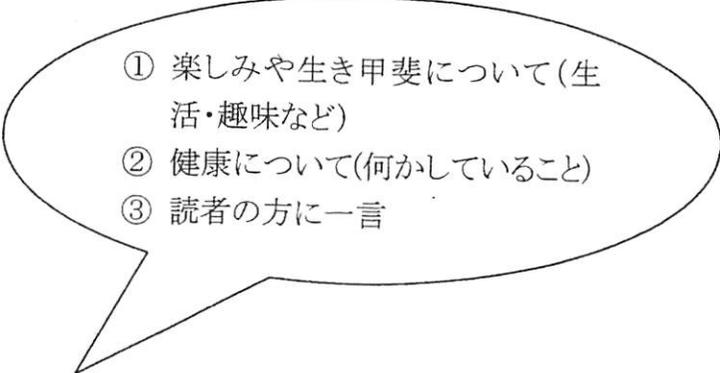
*お願い(申込みと会費支払い):

- 一別添の葉書で出欠をお知らせ下さい(予約の都合上 3月30日以前に投函してください。)
- 一昼食会費は総会当日年会費と共に受付でお支払い下さい。

③ 八事山を歩こう会

4月29日(木)緑の日に区の企画で、恒例の「八事山を歩こう会」が興正寺公園で開かれますが、鯉城会としても参加します。詳しくは別途ご連絡します。

お元気な会員の近況をご紹介します。

- 
- ① 楽しみや生き甲斐について(生活・趣味など)
 - ② 健康について(何かしていること)
 - ③ 読者の方に一言

4期生活学科卒 伊藤 治郎さん(八事学区在住)

- ① 老人クラブ等積極的に地域社会に参加、貢献しています。
- ② 散歩(早歩)と庭いじり。
- ③ 老人クラブ入会をお勧めします。一人でも多くの親しい友達を作ることが、健康、友愛、奉仕の三つの大きな目標の達成につながります。

8期文化学科卒 柴田 武さん(松栄学区在住)

- ① 大勢の友人に会うこと。いつも会っている友達は色々なグループの人達で、いくつかを挙げて見ますとこんな風ですー☆高年大学クラス会☆高年大学クラブの会☆高年大学の体操仲間☆こじょう混声合唱団☆愛知シルバーカレッジ10班会☆水泳会☆昔からの山歩き仲間☆山歩きやハイキングの友達(こじょうの友達や昔の体操仲間)
- ② ◆体操、水泳、ハイキング等で常に身体を動かす◆適度な体重を心がける(現在体重62kg,身長 168cmで標準です)◆食べ物は甘いものは控えめに、コレステロールの多いものは避ける(現在総コレステロール値 180,血糖値85で正常です)◆転ばないように気をつける(地下鉄の駅の階段は避け、エスカレーター、エレベーターを使うようにしています)
- ③ 足を丈夫にして下さい。ボケは足から来ますから、常に歩くように心がけましょう。

11期園芸学科卒 後藤 林造さん(松栄学区在住)

- ① ◆毎朝午前5時頃起床、先ず新聞をざっと読み、洗濯物を干し、家の周囲の掃き掃除、8時に川名公園へ出発(ゲートボールをします)、11:30 帰着ーこれ

がこの3年程の週日の午前中の日課です◆趣味は野球、サッカー、ラグビー、大相撲、マラソンなどスポーツ観戦、それにゲートボール、麻雀、競馬、短歌俳句等、嗜好品はタバコと酒◆社会活動は高年大学園芸学科O/Bで作っている緑友会に参加、植林育成(西の森公園)や鶴舞公園の花壇造成と維持管理をボランティアとして実施◆物事に拘らず、自分のしたい事をしている中で、多くの人と交流を持ち、世の中を広く知るのが私の生きがいです

- ② ◆自宅から川名公園(1.3km)往復散歩◆何事もなんとかなるさと楽観的に考え、心配、不平、不満を感じないように心掛ける
- ③ 昭和鯨城会という縁で仲間になった皆さん、よろしく願いいたします。

13期生活B学科卒 高瀬 みちよさん(広路学区在住)

- ① ◆鯨城学園のお陰でリズム、グランドゴルフ等を通して多くに友人に恵まれたことに感謝しています◆月に一度手話コーラスや民謡で老健や地元のデーケアセンターへ慰問に出向き大変喜んで頂いています◆楽しみは図書館に行くこと、それから、針を運んでいると夜の更けるのも忘れます。
- ② ◆特に何もしていません◆それでも結構身体は動かしていますーお稽古の帰りのお茶、おしゃべり、食事会、カラオケ、それに食事の支度も何かと忙しいです◆人の役に立って、時に感謝され、良い気分になるのも健康の秘訣かもしれません◆余生は少しだけ上を向いて、身の丈に合った、メリハリのある生き方を心掛けたいと願っています
- ③ 大変おこがましいですが、「幸せだ、幸せだ」と思っておりますと、不思議とそのようになります。一度お試しを。



クラブからのご案内

① グラウンド・ゴルフクラブ

—平成 15 年度昭和鯉城会グラウンドゴルフ大会報告—

梅花の香る 3 月 3 日午前 10 時より名古屋高速吹上高架下広場(ミニスポーツ広場)に於いて、年齢や体力に関係なく誰もが気軽に楽しく出来るスポーツとして当会の親睦行事の一つに育てられた「昭和鯉城会グラウンド・ゴルフ大会」は、加藤会長が所用で参加出来なかったため、世話人代表のみ光崎俊男さんのルール説明と、「皆さん無理をせず楽しんでください」の挨拶を合図に、6 ホールから各組一斉にスタートしました。

昭和区全域から参加された皆さんの熱気に溢れた笑い声や、気合の入った掛け声で、上空に入ってきた寒気も吹き飛ばし、“あっ”と言う間にゲームは終了しました。

成績発表は会員寄贈の缶コーヒーに喉を潤しながらアットホームな雰囲気の中で行われ、それぞれ賞品を手に散会しました。

成績表

主な賞	氏名	スコア	ホールインワン
優勝	国松 篤美	34	②
2 位	桜井 静	43	
3 位	渡邊 忠	43	①
4 位	長戸 俊郎	44	①
5 位	大沢 花子	45	①
10 位	吉村 卓次	46	
15 位	日比 昭満	49	
20 位	浅野 謙三	54	
BB賞	伊藤 光子	54	

その他、ホールインワン賞獲得者：山本 きぬ子①、後藤 林造①

報告者：15期(地域) 吉村 卓次

②リズム体操クラブ

昭和鯨城リズム体操クラブ便り

15期(文化) 近藤 良雄

平成 14 年の春発足しました昭和鯨城会リズム体操クラブも、三年目の春を迎え、ますます好評を得ています。発足以来指導していただいている、西川先生、助手の大塚さんのコンビで、無理なく楽しくをモットーに、連功十八法を始め、ストレッチ、バランス、リズムなどの運動に、汗を流しています。

又、リズム体操クラブの最大の懸案である会場の確保、これは何処のクラブでも皆さん苦勞をしているようですが、昭和鯨城リズム体操クラブは、発足当時より、会長を務めて頂いている近藤勇雄氏のご尽力のお陰で、平成 16 年度上期(4 月～9 月)月 4 回の会場の確保が出来ました。

会員一同にかわり厚く御礼を申し上げます。

下記にリズム体操の日程をお知らせします。

リズム体操日程表

平成 16 年 4 月	7 日	14 日	21 日	28 日
5 月	5 日	12 日	19 日	26 日
6 月	9 日	16 日	23 日	30 日
7 月	7 日	14 日	21 日	28 日
8 月	4 日	11 日	18 日	25 日
9 月	8 日	15 日	22 日	29 日

注：開催日は毎週水曜日

以上

自由寄稿

(“生き生き熟年“特別寄稿)

<今を生きる>

12期生活A 滝本 一男

鯉城学園を卒業して5年、振り返れば厚生院花壇の植え替え、ボランティアを始め、昭和鯉城会役員の折には、区民祭り、マップ作りなどに携わりました。

グラウンドゴルフにも参加させて頂き乍ら、老人会の役員として忙しい日々を過ごしております。

村雲学区にはグラウンドゴルフの会も元々在りませんでした。

学区会長に設立をお願いしたところ、平成15年6月に入って、体育委員からの連絡を頂いてから、話が順調に進み、親睦と健康増進を目的とした村雲グラウンドゴルフ同好会設立へと漕ぎ着けました。

名簿作りから取り掛かり、9月上旬には小学校の体育館で同好会結成があり、9月中旬以降、競技を毎月2回ずつ続けております。

“何をするにも皆さんのご協力があればこそ”と感謝しています。又、身体が丈夫であればこそ、お手伝いが出来た事を嬉しく思っています。

これからも健康が続く限り頑張るつもりです。



<天平の仏像美術>

(仏像美術の歴史3回シリーズ最終回)

15期(地域) 河田 茂男

仏像はその時代、時代の人々によって、判りやすく造られた心の拠り所でした。拝む人達が苦しい時にすぎる相手だったのです。仏像にはそんな多くの人々の思いがこもっております。私は今その素晴らしい仏像を尋ね、合掌し感動しながら廻っておりますが、その数の多いのにも驚いております。

さて白鳳に続く天平時代(710~794)になると、律令制の確立に伴い、仏像は天皇を中心とした中央集権的な政治体制を支える働きを益々強くしていきました。国家によって多くの仏師・工人が集められ、素晴らしい仏像が次々と造られていきました。それらは度重なる遣唐使の派遣や、留学僧により中国様式が大きく取り入れられるようになりました。当時を代表する仏像として、興福寺の十大弟子立像や八部衆立像(阿修羅)又東大寺法華堂の執金剛神像や日光・月光菩薩、更に戒壇院四天王像等の国宝が今に残っているのです。ほかに盛唐期の中国で学び伝えられたものに、十一面観音に始まる初期密教の変化観音像があります。それは葛井寺の千手観音像や東大寺法華堂に安置された不空罽索観音像などであり、特に後者の宝冠には二万数千個もの宝玉が使用されているのは驚きです。更に聖武天皇は、全ての信仰を結集した大仏鑄造の詔を発し、752年に開眼供養が行われましたが、その鑄造には約五百トンの銅が用いられ、延べ二百六十万人を超える役夫が動員され、まさに国力の限りを傾注した空前絶後の大事業でありました。又754年に苦難の未来日した鑑真の影響は色々な面で大きく、仏像の制作技法にも変化が現れ、塑像・脱活乾漆に加えて、カヤ・ヒノキといった針葉樹材を使った木彫像が制作されるようになり、今も唐招提寺にその多くを見ることが出来ます。そして日本独特の木彫文化が平安時代以降の主流になって行きました。



3回に渡って、仏像の誕生から日本で盛んになった歴史を辿ってみました。

次の仏像との出会い旅を、思い浮かべながら終わります。

合掌

国宝 千手観音菩薩像 脱活乾漆造 葛井寺

ニュース

<訃報>

次の2名の会員が相次いでお亡くなりになりました。

16期文化B学科卒 勝野 富美雄 さん(1月22日ご逝去)

13期美術学科卒 村瀬 擴可 さん(2月2日ご逝去)

謹んでお二人のご冥福をお祈りいたします。

<平成16年度の昭和区の行事>

今年4月以降の昭和区の主な行事の日程は次の通りです。例年昭和鯉城会はいくつかの催しに、会として参加しています。

4月29日	新緑の八事山を歩きませんか(興正寺)
6月5日	環境デーなごやクリーンキャンペーン
6月6日～7日	生け花初夏展(区役所)
6月29日	福祉まつり(区役所)
9月24日	お楽しみ交通安全の集い(区役所)
10月2日～5日	区民美術展(区役所)
10月10日	区民まつり(鶴舞公園)
10月16日～17日	秋の生け花展(区役所)

*詳しくは区役所地域振興課(tel: 7 3 5 - 3 8 2 3に御問い合わせ下さい。

<寄付のお礼>

昭和区社会福祉協議会の情報誌“ふくし”2月号の「お知らせ」に当会からの協議会への寄付へのお礼が掲載されております。

編集後記：

◆ 前号の訂正：

こじょう便り34号の記事に次のような誤りがありました。お詫びして訂正します。

該当ページ	誤	正
14 ページ(寄稿表題)	「日々是高唱、日々好日」	「日々是高唱、日々是好日」
17 ページ(区美術展入賞者)	高橋 みちよ	高瀬 みちよ

◆ 次号は平成16年6月に発行の予定です。

原稿募集と
情報提供依頼

旅行・趣味・短歌・俳句・随想・その他どんな話題でもかまいません。会員の皆さん、原稿をお寄せ下さい。又、身近な情報もお寄せ下さい。特に会員の慶弔情報は是非お知らせ下さい。

連絡先: 境野 紘

tel/fax: 052-833-6617

e-mail: sakainoh@ybb.ne.jp

あるいは他の編集委員誰にでもご連絡下さい。

昭和鯨城会会報「昭和こじょう会便り」35号

発行責任者: 加藤 初雄

編集委員長: 境野 紘

編集委員: 奥中 健司、大井 富美子

吉村 卓次、川辺 昂

白井 基久